

つながる

平成23年 7月20日 No.3

十日町市教育委員会学校教育課

「プロフェッショナル」

十日町市教育委員会教育長 蔵品泰治

「十日町市の小中一貫教育は、一つの建物の“一貫校”をつくることではありません。小学校と中学校のつながりを良くすることによって、9年間を見通した教育をすることです。そのことによって、教育課題の学力の向上や不登校の解消を図っていききたいのです。」と市民にお話しすることがあります。

教育に関する話題については、一般的に市民の関心は高く、新聞やテレビで情報を得ていますが、今まで報道された小中一貫教育の先進地における“一貫校”建設などの問題点が強く意識づけられているのではないかと思います。市教委としても、モデル中学校区での説明会の開催、市報への掲載、地元各紙への寄稿などによって啓発の取組をしてきましたが、正しい市民理解をいただくために更なる努力が求められています。今後も市報への掲載を継続するとともに、モデル中学校区以外の地域を中心にして、最新の情報を持っての説明会をしていかなければならないと考えています。また、学校現場においても、学校だよりなどによって随時の情報提供をお願いしたいと思います。

さて、「小中一貫教育」という当市における教育改革ですが、これは、平成20年5月に、過疎化、少子化が進む中で子どもたちのより望ましい教育環境はどうあるべきかをテーマに、大学や小・中学校の先生、PTA、一般市民の代表で委員会を組織したことに始まります。その結果として二つの提言をいただきました。一つは、適正な小中学校の学区に関する提言、もう一つは、新しい教育形態として小中一貫教育に取り組むべきとの提言です。「小中一貫教育」については、市教委としては予期しないものでしたが、学校を取り巻く諸課題の解決に向け、その後、小中一貫教育の在り方検討委員会や小中一貫教育基本計画策定委員会などで段階的に議論を重ねてきました。今年度は、小中一貫教育推進係を新設し、この度実施計画の策定まで進めることができました。

この実施計画にも紹介されていますが、市総合計画後期基本計画（平成23～27年度）では、教育における27年度の目標値を、①NRTで全学年・全教科の偏差値が全国平均点以上の学校数について、平成21年度末時点の現状である「小学校100%、中学校30%」を「小学校、中学校とも100%」とし、②不登校児童生徒の割合について、現状の「小学校0.39%、中学校3.03%」を「小学校0.20%、中学校1.50%」としています。この目標を達成していくことについては、山は高く、かつ険しいと思っています。しかしながら、私たちは教育にかかわるプロフェッショナルの教職員であり行政職員であります。決してアマチュアではないのであります。

昨年11月の小中一貫教育講演会後に実施した教職員アンケートでは、多忙化に対する不安の声をたくさん寄せていただきました。このため、「小中一貫教育を進めること」と「多忙化解消」はセットであると考え、当該実施計画にも記載しましたが、市教委に（仮称）教職員業務見直し委員会を設け、従来にも増して改善をしていきたいと考えています。

本稿は、「つながる」の第3号に掲載されますが、皆さんともども、しっかりとつながりながら、プロとしての知恵を出し、たくさんの汗をかきつつ、高く険しい山に登りたいと決意をしているところです。

取組の重点化を



プールから子どもたちの歓声が聞こえてくる夏となりました。担任時代に、水泳授業の最後のお楽しみとして、よく「波乗り」をしたことを思い出します。プールの内側の縁に沿ってみんなで同じ方向を向いて歩きます。速く歩く子や、遅い歩みの子、様々です。最初は水の抵抗でなかなか前に進まないのですが、みんなが歩き始めて少し経つと、水の流れることができるのです。そのうち、その流れは勢いを増し、プール内に強い渦巻きが出来ます。そうすると、泳げない子でも浮いているだけで前に進みます。「波乗り」と称して、その渦の流れに身を任せる心地よさを、キャーキャー言いながら味わったものです。

私は、研修や学校の課題解決のための仕組みづくりを考えると、いつもこのプールの渦巻きの、強い流れの勢いをイメージしたものです。「教育活動は多様にある。価値のない教育活動など無い。学校職員も頑張っていない者などいない。しかし、各々がそれぞれの思いで、ばらばらに頑張っているにもかかわらず成果に結びつきにくい。実態に即して、今どんなことが大切かを決め、それに向かってみんなで頑張る。みんなで頑張ることは決して多くはいらない。いや、多くてはいけない。決めたその方向を目指して、それぞれの力で、それぞれの持ち場で実践する。そうなったときプールの大きな流れのような力が子どもに届く。保護者に届く。地域に届く。」こんな思いからでした。

もうすぐ夏休み。小中一貫教育の計画づくりをする中学校区も多いと思います。重点化の視点を大切に取組の道筋を考えていってほしいと思っています。

(小中一貫教育推進係 嘱託指導主事 平野久美)

三条市小中一貫教育研修視察に行ってきました！

<こんなことが参考になったという参加者の声から>

- ・各校の文化の違いを無理に合わせるのではなく、共通のものを取り上げていく。
- ・事業を成功させるには、小中学校での綿密な話し合いが欠かせない。
- ・イベント的な交流でなく、地に足のついた学習面での交流が重要。
- ・中学校の定期テスト時に小学校は勉強への取組強化期間とする等、中学校区でそれぞれの取組を効果的に重ねる工夫をしていくこと。

<こんな資料を貸し出し出来ます。必要な方は推進係に連絡ください。>

- ・「三条市小中一貫教育基本方針」「三条市小中一貫教育～平成25年度完全実施を目指して」「十日町市教育委員会視察資料」



モデル中学校区8月の活動予定



日時 <内容>	会 場	見 どころ
○1日(月) 14:00~16:00 <指導の計画づくり>	下条中学校	・総合的な学習、特別活動、道徳について9年間の系統表を小・中学校の教員が合同で作成します。
○1日(月) 13:30~16:45 <プロジェクト会議>	松代中学校 プロジェクト① 孟地小学校 プロジェクト②	・松代中学校区では4つのプロジェクトを作って取り組んでいます。2回目の今回の内容は1学期に行った事の振り返りと今後の予定確認です。
○2日(火) 13:30~16:45 <プロジェクト会議>	奴奈川小学校 プロジェクト③ 松代小学校 プロジェクト④	①豊かな心育成 ②学力向上 ③健やかな体育成④教育活動の各プロジェクトが4会場に分かれて行います。
○8日(月) 13:00~16:45 <補習>	中里中学校	・中学校1年の補習に、小学校の職員もTTで参加します。教科は数学・英語です。
○18日(木) 13:00~16:45 <職員全員研修会>	中里中学校	・中里中学校区では、年1回、全職員で実践を持ち寄り、研修会を開催します。今年度は小中一貫教育の研修も行います。
○22日(月) 14:30~16:30 <講演会>	千手中央コミュニティセンター (川西中学校区)	・上越教育大学の村中智彦先生をお招きし、「子どもが分かる・参加できる授業づくり～共に育ち合う学級づくり～」という演題でお話いただけます。特別支援教育が専門の先生です。鑑島小 職員のみなさんも参加されるそうです。
○29日(月) 14:00~15:30 <児童生徒企画運営会議>	松代中学校 会議室	・小中の児童会・生徒会の役員が、中学校の体育祭時に行う小学生種目の企画運営会議(第2回目)を行います。
○29日(月) 14:00~14:45 体育祭練習> 15:00~16:45 <班活動打ち合わせ>	< 下条中学校 下条小学校	・中学校の体育祭に小学校6年生が参加します。今回は、その事前練習のための取組です。 ・9月14日(水)に予定している小1～中3までの縦割りで編成している若葉班活動の、事前打合せです。小学生と中学生のリーダーが、班で取り組みたいことについて話し合います。